

令和2年度

# 事業計画（案）

社会福祉法人 祥水園

# 令和2年度 祥水園 法人事業計画

## 法人理念

「してやるのではなくさせていただくのです」(宗祖お言葉 18 番)

## 法人経営指針

- ・共生 我々は社会・地域・ご利用者と共生する喜びと感動を創作する
- ・貢献 我々は誠実・努力・謙虚をモットーに絶えず自己研鑽に励み、社会・地域に貢献する
- ・誇りと幸福 我々は仕事への誇りと幸福を追求し、働き甲斐のある職場作りを目指す

## ・近況報告

先日テレビでニュースを見ていると、トヨタは、これからの時代はもう通信ではなく、乗り物の時代が来ると踏んで、富士山麓に次世代の街をつくるという。自動運転の試験が行動ではできないためあえてそういう街をつくるのだという。最新技術の見本市がアメリカ・ラスベガスで開幕するのを前に、トヨタが発表した「実証都市」の建設計画は、AI(人工知能)や自動運転車などを導入し、「街ごと」実証実験するものらしい。トヨタ自動車・豊田章男社長は、「データやセンサーで人・建物・車がすべてつながり、コミュニケーションが取れる」と述べた。着工は2021年で、実際に静岡・裾野市の土地に、トヨタ従業員などおよそ2,000人が住んで検証をするという。これからの時代、車は移動手段ではなく店舗にもなるという。

こういう新しい時代に我々はどう対応していくのか？過疎地・人手不足は今後一層加速し、AIはあたり前になっていくだろう。その一方で、AIに阻まれて消えていく職業がある中、消して消えない職業の中に介護職があげられている。介護職がなぜ新しい時代にAIではなく人間なのか？

いくら会話ができるAIが誕生しても、心を理解できないからだろう。3大介護といわれる入浴・排泄・食事。これらはAIが担っていく可能性はあるが、人の心だけは担えない。我々が支援するターミナルケアも同じくだ。お湯灌支援をAIが担うのなら崇高な理念など必要ない。人生の最後に人としての温かさや優しさに触れて人生を終えたいと願う

ことは当たり前の願いでもある。介護職の存在価値は AI が進む世の中だからこそ光り輝く存在となるのではないだろうか。しかし、新しい発想を持つことは大切だ。これから激動の老人福祉を考えていく中で、前例のないことを前例になるようにしていく覚悟がある。また、そういう祥水園でありたい。

例えば、特養及びデイサービスが解散・倒産していく激動の時代に向けて当法人は生き残るためにどのような経営戦略を持つかということ。老後破産が今後一層増える中で軽費の必要性をもっと訴えていくことも必要である。

- ① 介護保険制度に特化せず、自分たちのオリジナルなサービスを構築していくことを考えていきたい。地域を巻き込むといいながら巻き込めていない現状。公益事業はある程度の成果が見られるが、老人福祉という意味からはもう一步踏み込んだ考えを持ちたい。新しい発想・新しい価値観・新しい生きかたに対応する柔軟な考え方が必要。
- ② 介護者教室、転倒予防教室等は、市の委託事業以外に自分たちの顧客獲得方法や人材獲得方法を考えていく。
- ③ 高額なホームページを作成しても、もう若い人はホームページを見ない。この時代にこそ SNS に特化した顧客確保・人材確保が必要。若い人々が働きたいと思うところはどうなところか、価値観を共有する必要がある。
- ④ 定年退職の延長 働く人がいないことは法人にとって大きな損失。黙々と働く高齢者の方々を逃すことが果たして正解といえるのか
- ⑤ 経済的自立のために自分たちでできることを進めていくこと。  
などを検討していきたい。

また、本年度は介護保険法制度改正が行われる。(添付資料参照)

- ① 特養 所得第 3 段階の見直し
- ② ショートステイ 所得第 3 段階の見直し
- ③ 高額介護サービス費の見直し

令和 3 年には介護報酬改定が行われることを踏まえ対応を進めていきたい。

## 事業活動指針

- ① 法人健全経営
- ② 公益事業 (FM 五條・野原ダイニング・Miracle) 健全経営
- ③ 五條ハーブ商品化推進
- ④ 軽費建て替え及び仮設の運用推進
- ⑤ 働き方改革の推進

令和2年度

# 事業計画（案）

介護セミナー I Wish...

# 令和2年度 介護セミナー I wish … 事業計画 (案)

## 活動方針

平成28年8月より始まった介護セミナーは、今年度で5年目を向かえる。園内でのセミナーは月に1度継続的に行っており、継続的に参加して下さる施設が出て来ている。一方で新規で参加して下さる方が少なくなっていることも課題が昨年度より続いている。また、同じような活動を行っている事業所とも情報交換を行う事が出来るようになっていく。

新規の参加者の獲得や情報の発信を強化・活動の幅を広げることも念頭に置き、地域や外部施設に出向いた形で介護セミナーの開催や SNS などのメディアの活用を行っていく。また時代の流れが速い時代の中で、セミナーの在り方や福祉・介護の課題についても課題分析を行い、コンセプトは変えずにセミナーの内容や開催の方法についても変えていく。

園内に向けては現在のリーダークラスもセミナー講師として人材育成を行っていくことで、個々の成長やモチベーションの維持・向上を図り、今までの祥水園での昔からの活動を若い世代に伝えて行ける環境を構築していく。

内部・外部ともにこの介護技術セミナーを今後も広げていき、ご利用者との様々なエピソードを作る事で“介護観”を変えることで介護の素晴らしさや楽しさを伝える事で、「諦めない介護、諦めさせない介護」の実現を目指していきたい。

## 品質目標

### 品質目標

1. SNS の活用による広報活動
2. セミナー講師の指導力の向上・新規講師の育成

令和2年度

# 事業計画（案）

特別養護老人ホーム

水杜／水がたり

# 令和2年度 特別養護老人ホーム 水杜・水がたり事業計画（案）

## 水杜介護理念

私たちは、ご利用者の夢を諦めさせないことを誇りとし、自己研鑽に努めます。

## 水がたり介護理念

私たちは、今ある現状に満足せず、ご利用者の尊厳を守ることを使命とし、自己研鑽に努めます。

## 活動方針

令和という新しい時代が始まり、情報が溢れる中で目まぐるしく予想できないスピードで物事が進んでいる。だからこそ私達がいかにして情報を見極め、今ある物(者)は常に進化し世の中の求めているニーズに変化して掴み生かしていく事ができるかが重要になる。顧客がサービスに求める内容も多様化しており、地域のニーズだけでなく視野を県外や都市部にまで広げ求められているものを常に探求していく。

平成30年度末に起こった感染症により、令和元年度は感染症で低下した稼働率を上げることからの出発であった。入退院の増加や入居待機者の再抽出など、稼働率を安定できなかった一年ともいえる。これは原点である法人理念だけでなく経営指針の一つである「誇りと幸福」というところでもう一度見直すべき課題であると考え。ご利用者の支援をさせていただきだけでなく感染症予防をはじめとするご利用者・ご家族・職員の生活の安全・安心を守らせていただき、なおかつ支援させていただくという使命を全うする「誇り」、そしてそこから生まれる「幸福」というところを目標として一人一人が職務を遂行し、地盤を固めて進化していく必要があると考える。

令和2年度は、①稼働率の波やご利用者の状態を予測した上で最善の対策を投じた健全経営、②感染症予防など衛生面の徹底による職員の資質向上、③SNS発信や書類の情報化によるサービスの質の向上やその発信、といった目標を基に各部門で協働して今年度の目標達成を目指す。また令和2年度の介護保険法制度改正と令和3年の介護報酬改定に向けた対策を練っていく。

## 介護部門 品質目標

1. 感染症対策をはじめとする環境面・衛生面を改善する。
2. 喫茶やユニット行事などオリジナルサービスの提供並びに SNS 等を用いてその情報を発信する。
3. ユニット会議で他職種と連携してケアの改善を検討し、介護力を向上するよう努める。

### 相談員・介護支援専門員部門 品質目標

1. 法人相談員会議等に参加して情報共有を行い、稼働率の向上ならびに予防対策の検証を図る。
2. 新規ご利用者や介護人材確保のため、SNS等を用いて営業活動・イベント開催・求人情報の発信を実施・促進を図る。
3. ユニット会議等に必ず参加し、他職種と連携してケアマネジメントの仕組みやユニット内のシステムをモニタリングする仕組みを構築する。

### 事務部門 品質目標

1. 財務規律の強化
2. 高齢者雇用促進

### 管理栄養士部門 品質目標

1. 栄養ケア計画書を刷新し、写真入り食事形態一覧表を作成する。
2. 厨房、および介護職など多職種への衛生管理・指導を行う。

### 看護・機能訓練部門 品質目標

1. 整理・整頓を中心とする5S活動徹底し、感染症予防の仕組みを作る。
2. 薬品・物品の管理の仕組みを作る。
3. リハビリプロジェクトの立ち上げを実施する。

### 歯科衛生士部門 品質目標

1. 口腔プロジェクトメンバー全員に口腔ケア研修を修了させ、口腔ケアマスターを各ユニットに配置する。
2. 口腔ケア会議を月に一度開催し、介護職員が主体的に活動できるようフォローする。

### 法人行事

4月	お花見	11月	認知症フォーラム、防災訓練
6月	防災訓練、オープンホーム	12月	紅白歌合戦
7月	笹祈願	1月	新年会お祈り会、書初め会、寒行
8月	夏祭り 盆供養	2月	節分祭 開園記念式典
9月	彼岸法要	3月	彼岸法要

### 水杜・水がたり年間行事

9月	長寿式	10月	運動会
11月	芋ほり・柿狩り	12月	忘年会 餅つき大会



2月 新年会

3月 お花見

・季節ごとにご利用者の外出支援を計画実施

**水杜・水がたり月間行事**

- ・お祈り会 月1回
- ・感謝祭 月1回
- ・誕生会 各ユニットにて開催
- ・ポプレ移動販売（衣類） 必要時連絡
- ・外食支援の実施

**クラブ・ボランティア活動**

- ・踊りクラブ 月1回
- ・華クラブ 月1回
- ・ハンドベルクラブ 月1回
- ・特養喫茶 週1回
- ・書道クラブ 月1回
- ・フットマッサージボランティア 月1回
- ・絵本読み聞かせボランティア 調整次第での開催

**教育訓練**

(内 部)

- ・リーダー研修会 調整次第での開催
- ・次世代リーダー研修 調整次第での開催
- ・特養介護技術研修 月に2回以上（移乗・入浴など）

(外 部)

- ・ファーストステップ研修 2名参加予定
- ・認知症実践者研修 2名参加予定
- ・老施協各種研修発表会 2名発表予定
- ・ユニットリーダー研修 2名参加予定
- ・喀痰吸引研修 4名参加予定

令和 2 年度

# 事業計画 (案)

軽費老人ホーム 祥水園

# 令和 2 年度 軽費老人ホーム祥水園事業計画（案）

## 1. 軽費品質方針

- (1)社会・地域・法人内部署と協調し、福祉サービス活動を支援する。
- (2)ご利用者が尊厳を持ち、自立した心豊かな生活ができるように支援する。
- (3)生活支援に関する技術と知識を高め、業務の継続的改善を行う。
- (4)リスクマネジメント行動指針に鑑み、ご利用者の安心・安全を支援する。

## 2. 軽費処遇方針

軽費老人ホーム祥水園は設立より 44 年目を迎えた。今年度軽費は「活躍支援」をテーマとして取り組んでいく。今まで軽費はご利用者とともに様々な取り組みを行ってきた。しかしそれらの取り組みの内容は、軽費の中で完結してしまっているものが多く単発的になりがちであった。

軽費のご利用者は、多くの職務経験や人生経験をされ、特技や趣味など様々な強みを持っている。その強みは軽費の中だけでは生かせることが限られ、地域という多様なニーズのある場に視野を広げることによって、ご利用者の強みを最大限に生かした取り組みを地域の方と一緒に考え、実践を行う。そして軽費のご利用者の持っている力を地域に還元していくことで軽費と地域との関わりも深め、またご利用者と地域の方との新たな関係性をつなげていく。

ご利用者の持っている力を地域の中で発揮するために、幅広くご利用者の可能性を広げることを支援していく。法人で進めているハーブ園の商品化についても軽費として法人と連携を深めていく。軽費という単体で物事を考えるのではなく、法人や地域のというコミュニティの中でご利用者に生き活きと活躍してもらおうよう支援する。

それらの活動内容を SNS を活用し幅広い方々に発信しご利用者の活動を広げていき顧客の確保または人材の確保にも努めていく。

大規模修繕が今年度中には終了する予定となっている。ハード面が大きく変化する中でご利用者の生活も大きく変化することが予想される。ご利用者により安心して軽費での生活を過ごしていただくために起こりうるリスクに対しても考え対応していく。

ISO を取得している事業所として大規模修繕や地域との関わりの中などで生じる様々な出来事に対してマネジメントを行っていく。また、より質の高いサービス提供ができるように職員の質の向上を図っていき、様々なニーズへの対応を行っていくようになることで軽費の価値を高めていく。

## 3. リスクマネジメント方針による具体的な行動指針

- (1) 軽費の大規模修繕に伴う工事に関する事故・苦情、引っ越しの際の事故・苦情等、大規模修繕に伴って生じるリスクに対してのマネジメントを行う。
- (2) 地域にとの関わりの中で生じる事故や苦情に関するリスクに対してマネジメントを行う。
- (3) 外部からの持ち込みに関しての感染症対策や衛生管理体制に関してのリスクマネジメントを行う。

#### 4. 各部署品質目標

##### 1) 事務部門

###### 相談員品質目標

###### 品質目標

- 1.大規模修繕を計画通りに進める。
- 2.地域との連携を行う。
- 3.稼働率の高水準維持

###### 事務員品質目標

###### 品質目標

- 1.月次決算のタイムリーな情報共有
2. 事務所内の継続的業務改善

##### 2) 生活支援部門

###### 生活支援員品質目標

###### 品質目標

1. 地域への貢献
2. クラブの充実

##### 3) 医療部門

###### 看護師品質管理

###### 品質目標

- 1 ご利用者の健康意識を高める
- 2 職員の医療面の知識、技術の向上

##### 4) 給食部門

###### 栄養士品質目標

###### 品質目標

1. 軽費建て替えに伴い仕組みづくり、厨房内・倉庫の整理整頓
2. 食事イベントの実施

#### 5.令和2年度 役割分担表

##### 1、ISO 担当

NO	ISO 担当	リーダー	サブ・メンバー
1	サーベイランス	櫻井紳也	小松多恵子
2	校正	水野志津香	山本采佳
3	在庫管理	磯田明美	厨房職員、生活支援員
4	ISO 委員会	櫻井紳1 2	各部署 ISO 委員会メンバー

## 2、懇談会・健康教室

	懇談会	健康教室		懇談会	健康教室
4月	五味多玉記	水野志津香	5月	山崎こころ	五味多玉記
6月	森知史	磯田明美	7月	小松多恵子	山崎こころ
8月	五味多玉記	山本采佳	9月	山崎こころ	森知史
10月	森知史	櫻井紳也	11月	小松多恵子	小松多恵子
12月	五味多玉記	水野志津香	1月	山崎こころ	五味多玉記
2月	森知史	磯田明美	3月	小松多恵子	山崎こころ

## 3、年間計画（法人行事・軽費行事）

月	行事	リーダー	サブ
4月	生誕祭	櫻井紳也	森知史
	花見	小松多恵子	山崎こころ
5月	オープンカフェ月間	山崎こころ	支援員
	地域貢献	水野志津香	森知史
6月	軽費防災訓練	櫻井紳也	小松多恵子
7月	ちべん保育園来園	櫻井紳也	山崎こころ
	きゅうり加持	小松多恵子	磯田明美
8月	盆供養	五味多玉記	小松多恵子
	地藏盆	五味多玉記	水野志津香
	夏祭り	櫻井紳也	支援員
	夕戯れ会	森知史	山崎こころ
9月	長寿式	櫻井紳也	森知史
	彼岸法要	小松多恵子	五味多玉記
10月	地域貢献	水野志津香	山崎こころ
11月	認知症フォーラム	山崎こころ	櫻井紳也
	法人防災訓練（夜間想定）	櫻井紳也	森知史
	ちべん保育園児来園（お弁当）	森知史	小松多恵子
12月	忘年会	小松多恵子	森知史
	紅白歌合戦	山崎こころ	五味多玉記
	餅つき	山本采佳	小松多恵子
1月	寒行	小松多恵子	櫻井紳也
	軽費書初め	森知史	山崎こころ
2月	節分祭・豆まき	森知史	櫻井紳也
	開園記念式典	櫻井紳也	磯田明美
3月	彼岸法要	小松多恵子	水野志津香

注：すべての法人・軽費行事の総括は施設長が行う。

※太字は法人行事

4、居室担当

ユニット名	生活支援員	ユニット名	生活支援員
宇智の丘	山崎こころ	桔梗	五味多玉記
ほととぎす	小松多恵子	金剛	森知史

5、クラブ活動・DT・認知症予防

クラブ名	リーダー	サブ
カラオケ	森知史	山崎こころ
書道	水野志津香	五味多玉記
ハンドベル	五味多玉記	森知史
御詠歌	小松多恵子	五味多玉記
癒し会	小松多恵子	礒田明美
御廟参拝	小松多恵子	櫻井紳也
喫茶寿々	山崎こころ	山本采佳
寺子屋	櫻井紳也	礒田明美
大人の塗り絵	礒田明美	櫻井紳也
互助会	礒田明美	櫻井紳也
お運び	担当支援員	
誕生会（毎月）	月当番支援員	
もの忘れ外来	水野志津香	
散髪美々	月当番支援員	

令和2年度

# 事業計画（案）

在宅支援事業所 水輪

ケアプランセンター 水面

ヘルパーステーション ひと雫

デイサービスセンター 漣

## 令和2年度 在宅支援事業所水輪 事業計画（案）

### ケアプランセンター水面 事業計画

#### 1. 近況報告

超高齢社会を迎えている現代日本で、「いつまでも住み慣れた自宅で住み続けたい」「健康に長生したい」と誰もが口に出し言います。運動の必要性他の方と関わる事の必要性を感じ、地域の運動教室・サークル活動に参加される方も、以前より多くなっているように感じる。施設でも「元気塾」「カラオケ教室」等を開催し、運動する場、交流する場を提供させて頂いているが、毎回同じメンバーの集いになっており、まだまだ、施設は【特別な所】になっているのではないかと思われる。

地域と共存する施設を目指す為に、もっと外部に向けて祥水園の活動を発信する必要がある。今行っている「元気塾（体操）」「カラオケ教室」継続するとともに、イオンなどの公共性の高い場所で運動教室、介護相談等を行い、幅広い年齢層の方に、祥水園を知って頂く。

また、西 village party を復活させ、堅苦しいだけの会にせず、皆様が興味を持って参加して頂ける内容を考える。

各事業所への営業を行うとともに、これらの活動を通して幅広い年齢層に祥水園の事を知って頂き、ケアプランセンター並びに祥水園の各部署へのサービス利用に繋がるよう、顧客獲得活動の向上を目指す。

#### 2. 部門目標

##### ①稼働率の維持・向上

「営業計画表」を作成し、病院の地域連携室及び個人病院、包括支援センター等に営業をかける。また、野原タクシーの掲示物入れ、各公民館、その他人の集う所へ祥水園の活動やサービスを広報する。

SNS 拡大 (YouTube、Facebook、Twitter 等の活用)、広範囲に広報し、顧客獲得を目指す。



## ②食中毒防止

デイサービスの検食や内部監査に参加しチェックする。在宅で衛生管理が困難なご利用者は、必要なサービスを調整する。

## ③感染症発症及び蔓延を予防

感染症に関する情報は、常に気を配り各部署との連携を図りながら感染症予防に努める。

職員は感染予防の研修に参加し、知識、意識を高める。

## 地域交流

## ①カラオケ道場

地域交流、認知症予防、祥水園広報

毎週水曜、p m2:00～p m4:00 演歌歌手 晴香うらら氏による歌唱レッスンを行う。

レッスン代 500円 送迎代 200円(往復)

## ②元気塾

転倒予防・認知症予防、祥水園広報

月2回、p m2:00～p m3:30～ ミラクル 河村道徳氏による運動教室を行う。

レッスン代 無料 送迎代 200円(往復)

## ③イオンでのトレーニング教室

転倒予防・認知症予防、祥水園広報

2ヶ月に1度 1時間半 程度

ミラクル 河村道徳氏と計画的に進める。

## ④西village party

地域交流、祥水園広報で目的に、3ヶ月に1度開催。

## ヘルパーステーションひと雫

令和元年（平成31年度）は登録ヘルパーの新規採用ありましたが、勤務の継続が困難となり結果、短期間での退職となった。

登録ヘルパーの補充は出来なかったが、他部署とのダブルワークを行っている介護員が登録ヘルパーとして戦力に加わった事により、訪問件数を減らす事態は回避できた。

しかし扶養限度額の関係で活動件数を抑えなければならないヘルパーについての調整が出来てない現状が続いている。登録ヘルパーの新規採用の為に外部への打診も行っていく。

サービス提供については、ご利用者の心身状況の変化を把握し支援内容の見直しを行い担当ケアマネージャーと連携を取り新たなニーズの発見に繋げる。介護保険では行えないことを自費サービスで提供を行っていくことにより、ご利用者の満足度アップと増収を図る。

また、SNSで求人募集や自費サービス、サービス内容を発信し、登録ヘルパー及び顧客の獲得に繋げる。

## 部門目標

- ① 稼働率の維持・向上
- ② 食中毒防止
- ③ 感染症発症及び蔓延を予防

## 部署目標

- ① 通院介助や外出、介護保険外での自費サービスをサービス提供責任者が中心に回り増収を図る。訪問業務は引き続きサービス提供責任者、登録ヘルパー及び兼務の介護員で円滑に回るように訪問調整行う。
- ② 調理前の手洗い徹底、マスクの着用、調理器具の消毒、食材のチェック、ご利用者の手指消毒にも適宜注意を促す。ご利用者の食生活の確認等行う。
- ③ 訪問前後の手洗い、うがい、消毒を徹底とジェスパ携行の継続。ご利用者の環境面の観察を強化し皮膚疾患について意識し感染症の蔓延や症状悪化を防止する。

感染症の知識を幅広く得る研修の実施や内部研修の感染症研修に参加する。

## デイサービスセンター漣

### 1. 活動方針

平成30年度介護報酬改正で打ち出された医療との連携や自立支援・重度化防止に資する介護の提供・加算の算定を引き続き行いつつ、令和2年度の介護保険制度改正及び令和3年度に予定される介護報酬改正を見据えた多角的な視野でデイサービス運営をおこなっていく。

〈デイサービスセンター漣〉

・デイサービスセンター漣として令和2年度は二つの項目を重点課題として取り組んでいく。

一つ目として、令和元年度の課題であった稼働率の維持・向上に対する業務改善及び取り組みを行っていく。令和2年2月より新たな取り組みとしてデイサービスの半日稼働を開始、またこれまでに引き続き機能訓練特化型デイサービスとしてのサービス提供、ADL維持等加算の申請を行い定期的なBI値測定によるご利用者の評価を行い、ご利用者の健康維持、自立支援を図り継続した利用に繋げていき、令和元年度に低迷した稼働率の維持・向上を図る。

もう1つは令和元年度でも掲げていた感染症と食中毒の対策に取り組む。令和元年度ではデイサービスご利用者での感染症・食中毒の発生もなかったことにより、それに起因する稼働率の低下もありません。令和2年度も引き続き感染症予防のために①嘔吐物処理研修など感染症対策の研修の充実、②内部ならびに委託先などの衛生管理に関して監査し徹底した改善に取り組む。

### 2. 部門目標

- ① 稼働率の維持・向上
- ② 食中毒防止
- ③ 感染症発症及び蔓延を予防

### 3. 部署目標

- ①-①IS09001：2015による業務改善
  - (1)サーベランス年2回（8月、2月）
    - ・品質マネジメントシステムの構築を図る。
  - (2)内部監査ならびに委託先の監査・評価
    - ・定期的な内部監査を実施し、業務の見直し・改善を行うこととする。

・業務委託先については監査を実施し、業務の評価・見直し・改善を行うこととする。

#### ①-②計画に基づいた営業活動の実施

・年間営業活動を作成し、営業努力目標の達成に向けて年間を通じた営業を行い、併せてSNSなど情報発信ツールを活用し幅広くデイでの取り組みを内外に向けてアピールし、稼働率の向上を目指す。また、リアルタイムでニーズ把握・情勢把握を行うために各部門・事業所への情報収集を行い、迅速に対応していく仕組みを構築していく。

#### ②定期的な衛生面の見直し（内部監査の実施）

・3か月ごとに衛生面の見直しとして、内部監査を実施する。対象としてフロア内のキッチンと野原ダイニングを交互に行うこととする。

#### ③嘔吐物処理研修をはじめとする感染症対策の継続的な実施

・嘔吐物処理研修を定期的実施することで、迅速な対応手順の精査や感染症や食中毒による影響やリスクについての検討を行う。またフロア以外でのケースも想定されるため、各場面に応じた処理方法を約3か月毎に実施し、令和2年度はご利用者にも参加していただき実施・見直しを行い、最小限のリスクで対応できるようにする。

また令和元年度も実施したパワーポイントを使用したご利用者向けの健康教室を令和2年度も実施し、ご利用者への啓発を行いつつ感染症のリスク軽減の機会を図ることとする。

#### <各ケース想定嘔吐物処理研修計画>

- ・デイフロア内での処理研修（4月職員、5月ご利用者）
- ・浴室（個浴）での処理研修（7月職員）
- ・送迎車両での処理研修（10月職員、11月ご利用者）
- ・浴室（普通浴）での処理研修（1月職員）

#### <健康教室>

- 4月…ノロウイルス
- 6月…脱水症状
- 8月…食中毒
- 10月…インフルエンザウイルス
- 12月…ノロウイルス
- 2月…インフルエンザウイルス

令和2年度

# 事業計画（案）

グループホーム 慈泉庵

# 令和2年度 グループホーム慈泉庵事業計画

社会福祉法人 祥水園 法人理念

「してやるのではなく、させていただくのです。」

## 1. 慈泉庵 運営方針

- ①私たちは、ご利用者が住み慣れた地域で心豊かに過ごせるように支援します。
- ②私たちは、ご利用者が尊厳を保持し、生きがいを持った生活を支援します。
- ③私たちは、絶えず自己研鑽に励み、ご利用者に安心・安全な介護を提供します。

## 2. 処遇方針

グループホーム慈泉庵の大きなテーマとして『主役はご利用者』として掲げて活動を行う。認知症のご利用者が生活を行っているが、できることや可能性を持つご利用者がたくさん生活されている。その中で、ご利用者の力を最大限発揮し、「日常のやりたいを形にできる」環境づくりや生きがい作りを行っていく。また、日常的なアセスメントや生活歴等のアセスメントを向上させ、生活への活用や個別支援につなげていく。支援や介護を行うフィールドを施設内や法人内で完結させるのではなく、外出支援や地域との関わり合いの中でご利用者自身の生活がより活気あるようにする。

地域の中で「認知症になったから…」というネガティブなワードではなく、「認知症になっても大丈夫！」というようなポジティブなワードが聞けるような地域を作っていくために、ご利用者の介護をすることに加えて地域での様々な活動や啓発活動を行い、『共生』を地域と一緒に考えつなかりを構築していく。また、職員全体での様々な専門的知識・技術を習得しご利用者の健康を維持・向上を図りつつ、職員の特技や強みを活かした介護を考え、実践できる体制づくりを積極的に行い、ご利用者も職員も活気ある環境・職場づくりの実践を行っていく。

## 3.品質目標

### 品質目標

- ① 生活環境の創意工夫をし、ご利用者の力を発揮する
- ② アセスメントの向上と活用
- ③ 地域・社会貢献活動の実施

4. 年間計画（法人・慈泉庵行事）

4月	生誕祭、春祭り、お花見
5月	防災訓練、地域貢献
6月	バーベキュー
7月	きゅうり加持
8月	盆供養、夏祭り
9月	長寿式、彼岸法要
10月	地域貢献
11月	認知症フォーラム、防災訓練
12月	紅白歌合戦、忘年会、餅つき
1月	書初め、新年会、寒行
2月	開園記念式典、節分
3月	彼岸法要

※年2回の外泊旅行を実施予定

令和2年度

# 事業計画（案）

公 益 事 業

野 原 ダ イ ニ ン グ

F M 五 條

ス ポ ー ツ ジ ム Miracle

リラクゼーションスペース JADE

託 児 所 楽 柿



## 令和 2 年度公益事業部事業計画（案）

祥水園野原西 village の意義、「地域共生」を目的とし、地域住民の方やご利用者、ご利用者のご家族、職員が交流を生み、暮らしに活力を与え、生きがいや癒しを感じる事が出来るサービス提供に努める。法人内部署と連携、協調しながら公益事業の運営を行う。

### 【野原ダイニング】

#### 目標

1. 顧客確保
2. HACCP に準じた衛生管理体制の構築
3. 野原ダイニング・滞の街の利用のシステム化・運用(手土産等のパンフレットを作成し、利用しやすくする)
4. SNS を活用した広報活動・情報の発信

### 【FM 五條】

#### 目標

1. 防災・減災情報の発信、災害時の情報発信による地域貢献。
2. 黒字化（設備機械更新のための積立金の確保）
3. 安定した番組の放送、地域リスナーの拡大。
4. 免許更新の完遂（5年に1度）

### 【スポーツジム Miracle】

#### 目標

1. 総会員数平均 185 名以上の達成
2. 健全運営、広報活動(営業活動)から事業収入予算の達成。
3. ミラクル公式 YouTube チャンネル発信

### 【リラクゼーションスペース JADE】

#### 目標

1. 地域の皆様とご利用者、職員の安寧の為健全な運営を行う。
2. 訪問美容利用者を増やす

### 【託児所楽柿】

#### 目標

1. 職員及び雇用者へ託児所完備施設をアピール。
2. 一時預かり利用者を増やす

